

平成26年度 岡山県環境審議会水質部会 議事概要

(開催要領)

- 1 開催日時：平成26年9月2日(火) 13:30～14:00
- 2 場所：メルパルク岡山 2階「蓬莱」
- 3 出席者：
 - 委員(五十音順、敬称略)
井田千津子、沖陽子、河原長美、小林秀司、鈴木茂之、逸見真理子／計6名(欠席0名)
 - 事務局(県)
環境管理課長、水環境湖沼保全班長、事務局職員／計3名

議 題	1 部会長の選出、副部会長の指名 2 平成25年度公共用水域及び地下水の水質測定結果
会議資料	別添資料のとおり
議事概要 -委員意見- 意見1 水環境湖沼 保全班長 意見2 環境管理課長 意見3 環境管理課長	<p>【議題1】 部会長に河原長美委員が選出された。 河原部会長より、副部会長に沖陽子委員が指名された。</p> <p>【議題2】(事務局より、資料に基づき説明)</p> <p>湖沼のpHの環境基準達成率が約60%とのことだが、残りの40%はアルカリ側か。</p> <p>アルカリ側である。</p> <p>ウランが指針値を超過したことについて、自然由来とした根拠は何か。</p> <p>超過地点はすべて海域であるが、海水中の平均濃度よりも指針値の方が低いためである。</p> <p>指針値が海水中の平均濃度よりも低く設定されているのはなぜか。</p> <p>国から、「ウランの指針値は海域に適用しない。」といった注釈がされてい</p>

ないので形式的に評価せざるを得ない状況である。

なお、河川・湖沼においてはいずれも指針値に適合している。

以 上